

あぐれむ

vol.13

発行／(株)ふるさと葬祭アグレム(事務所)

横手市大雄字本庄道北堰間13

TEL.0182-52-3930

FAX.0182-52-3931

ホームページ

www.ja-sousai.co.jp/furusato

ハロウィン

10月31日(月)はハロウィン。英語圏の国々(イギリス、アメリカ、オーストラリア等)で大々的に行われてゐる事から、キリスト教のお祭りと思われがちですが、元々はケルト民族(現在はアイルランド、スコットランド等に残っている)の風習から始まったものだそうです。

ケルト暦では10月31日が一年の終わりで、その日に死者の靈が家族を訪ねてくると信じられており、時期を同じくして出てくる有害な精霊や魔女から身を守るために仮面をかぶり、魔除けの焚火を焚いていたのがハロウィンの由来だそうです。

諸外国では主役は子供たちで、魔女やお化けに仮装して「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれないと悪戯するよ)と唱えながら近くの家を訪問する様子をイメージされる方も多いかと思います。

日本のハロウィン

日本では一昔前まではあまりなじみの無い行事でしたが、1990年代後半、某テーマパークが始めたイベントをきっかけに、2000年代後半には菓子メーカー各社が相次いでハロウィン商戦に参入したことからどんどん広まっていき、2014年の経済効果はバレンタイン、ホワイトデーを抜いて、クリスマスに次ぐビッグイベントにまで成長しました。子供のお祭りというよりは、20代の若者が仮装をして楽しむ日本式にアレンジされたハロウィンが定着して今に至ります。

日本では仮装パレードが取り上げられることが多いハロウインですが、ルーツをたどると日本のお盆のように先祖をお迎えする日であることを思うと、先祖を思う気持ちは時代、民族を問わないものだと改めて考えさせられました。



洞雲寺 ご住職 講演会

去る2月21日横手市黒川の洞雲寺ご住職柴田康裕氏を講師にお招きして「おのれの生き方に向きあう～慈愛の言葉につつまれて～」と題した講演会が行われました。

講演に先立ち、「時間を意識し、一瞬一瞬を大切に生きる心を大切にしましよう」と、来場者全員による「イス座禅」が約3分間行わされました。

講演は、近年の多様化する葬儀形態の解説から始まり、最近話題

になつた「お坊さん便」について触れ、これまでの檀家制度の流れを説明し、これからはこれまでの「家とお寺」の関係から、「人と人との関係を築いていくべきだと話されました。

そして昨年ご自身が突発性難聴を患つたことに触れ、看護師さんからかけられた「良くなるようには諦めないで治療しましようね」の言葉、医師から言われた「治療して治るかどうかわかりませんよ。この病気と一生付き合っていくのも一つの方法ですよ」とのご自身には辛い言葉から、こちらの都合ではなく、相手の都合に合わせ、相手の心に寄り添い、その心を推し量つたうえで自分が行動していく大切さ。

両者の言葉を「慈愛」の言葉と受け止めることが出来たとき、「おのれの生き方に向きあう」と思つた瞬間だと話されました。



トをいただきました。
「労い（労り）」～お疲れ様。
「反省」～ごめんなさい。
「謙虚」～おかげさま。
「葬儀の事が何もわからない」
など、普段から努めて好んで使うことにより、ちょっとの一言で相手を、さらには自分の心を豊かにしてくれるのだと、生き方のヒントをいただきました。



葬儀に関する不安や悩みはございませんか？

葬儀の準備には何が必要なの？

葬儀の事が何もわからない

葬儀の費用って実際いくら必要な？

ご家庭の精神的・経済的なご負担を軽減したり、少しでも安心して頂くために、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

訪問相談も承っております。

- ①まずは52-3930までお電話ください。
- ②「訪問相談希望です」とお伝えください。

※訪問日時を決めます。

- ③お約束の日時にスタッフがお伺いします。

手順はとても簡単です

香最寺ご住職講演会

たいと申し出たお話をから始まりました。

震災被害者遺族とのやり取り

や、被害の甚大さをご住職の視点

よりお話をいただき、東日本大

震災はここ横手市とも関わり深い

事柄であるとお話をいただきました。

講師にお招きして「『照顧脚下』」
まずは自分自身の足下を照らしてみよう。そこから見えてくるものを見つける」と題した講演会が行われました。

講演は3・11東日本大震災につ

いて触れ、ご縁があり南三陸町の方の火葬場でのお勤めを依頼され、その時に火葬場職員の方より、今後釜石地区の震災被害者の火葬を横手市で受け入れる事を聞き、ご住職自ら少しでも震災被害者・

被害者遺族の為になればと思ひ火葬場のお勤めをさせていただき

あられる女性とのお寺参り時のお話を挙げられました。

『今日お参りはどなたの命日ですか?』とご住職が問いかけたところ、檀家さんの女性は『本日は誰の命日でもなく、実は私の誕生日です。』とお答えになり、その

檀家さんの女性は10年前に最愛の母を亡くされた事を機にご両親の命日のお参りとご自身のお誕生日にご両親への感謝の気持ちを胸にお参りを10年間続けていらっしゃ

つた事を知り、今までの【誕生日】の概念を覆された驚きがあり、感動されたというお話をされました。

このお話をもとに、自分自身の足下を照らし、これから的人生を前向きに生きていく為にいくつかのご提案をされました。

○ご自分の誕生日を迎えたたら自

ら大切な方や最愛の人(家族等)に御礼の言葉や物の施しをしてみたらどうか。今まで生きてこられたことに感謝することによりご自身が発信することにより周りの方々も明るくなるのではないか。

○様々な場面でのプレゼントに数珠をプレゼントしたらどうか。ご家族よりプレゼントされる事により、ただ拌む時の道具としてでは無く、大切なお守りとして利用できるのではないか。

○自分の先祖をさかのぼれば誰かご先祖様が一人でもかけてしまったら、今の自分自身は存在していない事を尊いものと考へ、誕生日を命日と呼んでもいいのではないか。

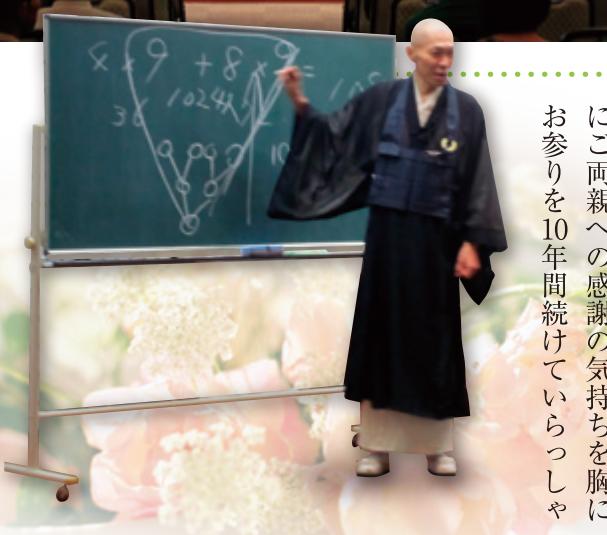
これらのご提案をご出席のお客様と共に広めて行きましょうと講演を締めくくりました。

結び

兩講演会ともに講演終了

後、竹炭そばの振る舞いとアート写真館による写真撮影会が行われ、参加者の皆様にも好評な様でした。

これからもこの様なイベントを企画、開催してまいりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



(株)ふるさと葬祭アグレム 人形供養祭

大切にされていた人形、ぬいぐるみなど丁寧にご供養いたします

参加無料

10/30
(日)

受付 9:00~

供養開始 11:00

会場

虹のホールアグレム

横手市三枚橋一丁目6-10 TEL.0182-36-3930



秋田
●日産様

会場

ブックオフ様

●横手
体育館

山二
●GS様
国道
13
号線

JA-SS
富士見大橋
至横手地域局

至横手駅

至横手駅

今年も様々な企画をご用意して、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

是非、ご近所、ご友人お誘い合わせの上ご参加ください。

供養終了後、恒例となりました**会員様限定の抽選会**を行います。

同封いたしました抽選券を当日受付までお持ちください。

当日のご入会も
承ります



虹のホールアグレム

〒013-0069 横手市三枚橋一丁目6-10
TEL.0182-36-3930 FAX.0182-36-3931



虹のホールアグレム おものがわ

〒013-0208 横手市雄物川町沼館字稻荷前62
TEL.0182-56-2630 FAX.0182-23-1220

Information

喪中ハガキ
寒中見舞い

今年ご不幸があったご家族の皆様におかれましては、心よりお悔やみ申し上げます。

月日のたつのは早いもので今年ももう十月、喪中ハガキのご準備はお済みでしょうか? 当社でも喪中ハガキ・寒中見舞いをご用意いたしております。必要な際はご一報下さいませ。

ご意見ご感想

この広報誌についてのご意見ご感想、掲載してほしいことなどございましたら

(株)ふるさと葬祭アグレム<担当・杉田>まで

パートタイマー
随時募集中

業務内容 > 新規会員募集
詳しくはふるさと葬祭アグレム
(TEL.0182-52-3930)
までお問い合わせ下さい。

24時間
受付

年中
無休

フリーダイヤル

0120-87-2630

提案します。安心・まごころ葬儀

株)ふるさと葬祭 アグレム

〒013-0345 横手市大雄字本庄道北堰間13
TEL.0182-52-3930 / FAX.0182-52-3931